坂本家系図

太郎五郎 ― 彦三郎 ― 太郎左衛門 ― ·1 才谷屋初代 八兵衛守之 ― ·2（大浜） 八郎兵衛正禎 ― ·3（大浜後に坂本） 八郎兵衛直益

- ① 郷士坂本家 八郎兵衛（八平）直海 ― 本丁筋一丁目に分家
  - ② 八蔵直澄 ― ③ 八平直足に続く
  - ·4 才谷屋 八郎右衛門直清
    - ·5 八郎右衛門廣業 ― ·6 八太郎直與（清根長男）
      - ·7 市太郎
      - 菊恵（坂本家を廃戸）明治15没二九才
    - 八三郎清根
      - 八太郎
      - 八兵衛 ― 源三郎

- ③ 養子常八郎 長兵衛（八平）直足 ― 潮江村山本覚右衛門二男
  - 妻 幸 八蔵直澄女
  - 後妻 伊與 北代氏女 種崎川島氏に嫁すも寡婦となり、坂本家に再嫁

- ④ 権平直方 明治4没 五八才
  - 妻 千野 川原塚茂太郎姉
  - 後妻 直 大石文慶女
  - 後妻 仲 福富倉丞女
  - 清次郎 養子、後離退、三好賜
    - 妻 春猪 権平直方女
    - 鶴井 坂本直寛妻
    - 兎美
    - 譲（夭）
    - 亀代
  - 富太郎（夭）
  - ⑤ 直寛 養子 明治31北海道浦臼に移る 明治44没 五九才
    - 妻鶴井、後妻翠、後妻鹿
    - 太郎（小野淳輔）龍馬遺跡養子
      - ⑦ 養子 彌太郎
        - 妻 直意 直寛の女 ― 熊本県浜武彌平次男
        - 後妻 タネ
        - 直恵
        - ⑥ 直道 坂本直衛の家督を継ぐ
          - 清一（夭）
          - 晴夫 神戸市在住
          - 道夫（夭）
          - 哲夫 神戸市在住
          - 昭夫（夭）
          - 勝清 明治36土居氏（後に弘松）の養子 昭和34没 六四才
        - 彌寿
        - 美代
        - 彌恵
        - 隆子
        - 富士
        - 春海
        - 正幸 昭和56没 七三才
        - ⑧ 直行 坂本直行記念館（北海道） 昭和57没 七五才
          - 潔
          - 美雪
          - 直美
          - 勲
          - 宏
          - 正博
          - 嵩
          - 登 ⑨
        - 彌直 昭和20没 四一才
        - 溢 昭和53没 七六才
    - 茂 弘松宣晴妻
    - 習吉（南海男・直寛）権平直方養子
  - 栄 柴田作右衛門に嫁す後離退 文久2・3自刃
  - 乙女 岡上新甫に嫁す後離退 明治12没 四九才
  - 1 龍馬直柔（なおなり）・直陰 天保6・11・15生 慶応3・11・15没 三三才
    - 妻 龍 楢崎将作女、龍馬死後西村松兵衛に再嫁、明治39没 六六才
    - 2 直（高松太郎） 明治4・8・20朝旨により遺跡相続、明治31没 五七才
      - 妻 留 直没後、北海道浦臼に移る 大正4没 六九才
      - 眞理子
      - 加代子
      - 直樹（夭）
      - 兼次郎 養子
      - 潔 養子後離退
      - 3 直衛（独身） 大正4没 三八才
        - 4 直道 実 坂本直寛長男 昭和16家督相続 昭和47没 八〇才
          - 妻 万寿 昭和51没 八一才
          - 直臣（夭）
          - 寿美子